

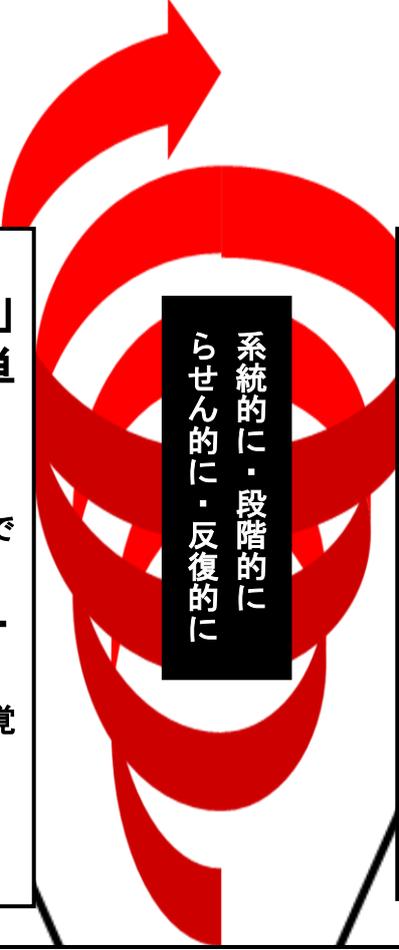
学校教育目標 「よりよく学び 心豊かに たくましく」

自ら考え、伝え合う子の育成

重点1

「分かった」「できた」
「使えた」つながる単
元構成の工夫

- ・自分のゴールの姿をイメージで
できる学習活動
- ・次の意欲につながる自己評価・
相互評価
- ・変容（伸び）とその理由を自覚
できる終末



重点2

伝え合うよさを実感
できる指導の工夫

「聞く必要感」のある場の設定

- ・話し合いの目的を明確にする
ための工夫
- ・考えを表出させる場の工夫（整理・
組織化・焦点化するための発問・
板書・モデルの活用）
- ・課題解決のために役立ったことを
確かめるふり返り（友達の名前・
既習事項など）

単元を貫く言語活動の充実

- ・学習の見通しをもてる掲示・図書環境の整備・言語活動につながる教材研究

系統性を意識した**付けたい力**

児童の実態

指導事項「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」

伝統的な言語文化と
国語の特質に関する事項